



中学生・高校生が思う

こんな“まち”にしたいな

町内中学生にヒアリング、須知高校生にワークショップを実施しました。その後、この活動計画(案)について意見を募集した生徒たちの“まちづくり”に対する思いです。

住んでいる人にこの町を誇れて好きだと言わせるような町にしてほしい

お年寄りの人たちが安心して暮らせるようになるために、移動販売の車を出したり、病院の医師に家まで来てもらえるような制度をつくる

乗り合わせタクシーをつくれれば高齢者が助かる

駅や高速道路も通っているからショッピングモールなども建てて地域を繁栄させてほしい

人と関わりをつくるためにイベントなどを多くするべきだと思います

もっと高齢者の方とたくさん関われる取り組みがあったらいいと思う

若者にも目を向けてほしい



障害者の施設とかができてほしいなと思う

100円バスをつくる



ボランティア活動を増やしていく

「食」もおいしいからもっとたくさんの場所で売って、京丹波の食の魅力についてたくさんの人に知ってもらいたい!

雪かきをする人が増えたら事故にもならないので良いと思います

職場がなければ出なければならぬ。職場が増えると人も増える

地域の人たちと関わるが増えたら良い。



子どもだけでなく大人と子どもで遠慮なく話せる空間があればおもしろいと思った

障害者の人たちとのふれあいなどがあつたらいいと思います

空き家が増えてきているのだったら観光地をもっとアピール(インターネット・YouTube)したり、田舎体験などをして呼び込めたらいい

地域の行事など運営の問題でなくなっているものがたくさんある。そういう行事は地域の人たちと交流できるとてもいい場なので、行事がなくなっていくかのように町や大きな地域などでも協力していければいいと思う

交通のこと。通学でバスを使おうとしても本数がない。親がないと移動もできない

きれいな避難所がほしい

